発達とパーソナリティ（世代別）

世代の特徴と課題

青年期

- 特徴
  - アンビバレンス
  - 境界人・周辺人（レヴィン）
  - モラトリアム（エリクソン）
    - 責任をとらない
    - その場で全力をつくさない
    - 社会的に役立つことを考えない
    - 主体性のない生き方
- 発達課題（エリクソン）
  - 自我同一性の獲得と確立
    - 本当の自分を生かす
      - 社会にも認められる
    - 自己矛盾→葛藤
      - 自我同一性拡散・混乱
        - 非行・自殺
        - 性格として固まる

カウンセリング
合意して契約
・問題解決に本人を参加させて、一緒に考える

成人期（中年期）

- 特徴
  - 個性化（ユング）
    - 人生の午後（ユング）
- 中年の危機（レビンソン）
  - 体力の危機
    - 対人関係の危機
      - 思考の危機
  - 課題（エリクソン）
    - generativity（世代性）
      - 後輩や家族を育てる
        - 子供や後輩に嫉妬しない
          - 後輩や子供の幸せを喜ぶ
  - ストレス←ズレ
    - 世代・男女・外国
      - 熟年離婚
        - 自殺

老年期

- 特徴
  - 死の恐怖
    - 保守性の拡大
- 課題（エリクソン）
  - 死の準備
    - 人生を肯定する

カウンセリング
過去回帰法
・楽しい気持ちを思い出す→表情が豊かに→いい気分